

作業會計法中改正法律案外一件特別委員會會議事速記録第一號

付託議案
海軍燃料廠ノ石炭、煉炭又ハ燃料油ノ買入ニ關スル法律案

委員氏名

- | | |
|------|-----------|
| 委員長 | 和田 彦次郎君 |
| 副委員長 | 子爵細川 立興君 |
| | 子爵森 清君 |
| | 子爵松平 乘長君 |
| | 男爵村上 敬次郎君 |
| | 男爵坂本 俊篤君 |
| | 男爵寺島 敏三君 |
| | 原 保太郎君 |
| | 秋山 源兵衛君 |

大正十年三月四日(金曜日)午後一時八分開會
○委員長(和田彦次郎君) ソレデハ是ヨリ委員會ヲ始メマ

○政府委員(佐々木謙一郎君) 大藏省ノ關係ハ印刷局ノ据置運轉資本四十七萬圓ヲ百萬圓ニ増額スルコトニ付キマシテハ大體御説明ヲ申上ゲタイト思ヒマ

三ヶ年ニ互リマシテ三百萬圓ノ繼續費ヲ要求イタシテ居ルト云フ次第デアリマシテ、從前カラゴザイマ

原ノ採炭事業及ヒ山口縣徳山ノ煉炭製造事業ヲ併セマシテ、新ニ製油ノ事業ヲ加ヘマシテ海軍艦船用燃

大正十年ハ約十萬噸ノ見込デアリマス、漸次増加シテ二十萬噸ニ達セシムル見當デゴザイマス、作業會計ノ大體ハ燃料廠作業會計トシテ固定資本、据置運轉資本ヲ置キマシテ、作業上ノ收入及附屬雜收入ヲ以テ此作業ノ費用ニ充テマス、歳出額ハ豫算定額内ニ於テ實際ノ歳入及据置運轉資本ノ合計額ヲ超過シナイ様ニ止メテ行カウト考ヘテ居リマス、固定資本ノ維持修理並ニ補充ニ付キマシテハ、燃料廠ノ特別會計ノ歳入ヲ以テ之ヲ支辨イタシマシテ、作業上ニ生ジマスル所ノ純益及固定資本ニ屬スル物件ノ賣上代ハソレハ一般會計ノ歳入ニ入レル積リデアリマスソレデ、一般會計ノ歳入ニ編入シマス、次ニ資本デアリマスガ、此固定資本ハ申迄モナク土地、建物、鑛區、機械、並ニ重要ナル器具ヨリ成ルコトニナリマシテ從來海軍採炭所並ニ海軍煉炭所ニ於テ使用シテ參ッタモノヲ初年度ノ固定資本ト致シテ、將來増加スル所ノモノヲ漸次之ニ加算致ス事ニナリマス、初年度ノ固定資本ノ金額ハ七百四十九萬餘圓トナッテ居リマス、据置運轉資本ノ方ハ二百萬圓ト云フ見當デアリマス、大正九年度ノ末日ニ海軍採炭所ノ据置運轉資本トシテ現在シマスル所ノ十萬圓ヲ先ヅ之ニ充テマシテ、其不足額ハ大正十年度以降十二年度ニ至ルマデノ間ニ漸次増加イタシマシテ、百九十九萬圓ヲ一般會計ヨリ繰入レマス、此合計二百萬圓ノ固定資本ヲ以テ經營イタスト云フコトナリマス、此二百萬圓ト云フノハ決シテ十分ナモノデハアリマセズ、マダ是ヨリ多クノ据置運轉資本ヲ要スルノデアリマスケレドモ、成ベク最少限度ニ止メマシテ其調節ハ一般會計ヨリ生産品ノ代價ノ前受ヲスルト云フ方法ニ依リマシテ、先以テ當分二百萬圓ノ運轉資本ヲ以テ圓滑ニ經營イタシテ參リタイト考ヘテ居ルノデゴザイマス、前受金ノ金額ハ凡ソドノ位ノ見當デアアルカト申シマスルト云フト、十年度ニ要シマスル所ノ運轉資本ノ總額ハ約四百萬圓ノ計算ヲ立テマシタガ、其中二百五十五萬圓ヲ前受金トシテ一般會計ヨリ受入レルコトニナリマスレバ、先以テ運轉上支障ナク實行シテ行クコトガ出來ル見込デアリマス、サウ致シマシテ此歳入ノ差引ヲ致シマシタ所デ十年度ノ益金

ハ七十萬圓ノ豫定デゴザイマス、其計算デ參リマスレバ歳入ニ於テ二千五百九十七萬餘圓、歳出ニ於テ二千五百二十五萬五千餘圓、此差引計算ガ益金トナッテ參リマスル、之ガ七十二萬三千圓ト云フコトニナッテ居リマス、此七十餘萬圓ノ益金ハ固定運轉兩資本ニ對シマシテ八分七厘餘ノ計算ニナッテ居リマス、尙ホ細カク計算ノ基礎ヲ申上ゲテ見タイ思ヒマスケレドモ、大體今申上ゲタ通りデアリマシテ、餘リ計數ノ細カイ所ニ立入りマシテモ面倒ト考ヘマ スルカラ、是等ハ御質問ニ依テ御答ヲ致シタイト考ヘマス

○男爵坂本俊篤君 私ハ此重油ニ關スル需給ノ事柄ヲ少シク御尋イタシタイト思ヒマス、此說明書ニ依リマスルト大正十年度ニ於キマシテハ約十萬噸、ソレカラ漸次増加シテ二十萬噸ニ達セシメル豫定デアリマス、斯ウ云フコトニナッテ居リマスガ、此豫定額ニ達シマスルト、將來海軍ニ要スル所ノ重油ノ需要供給ノ關係ハ是デ十分デアアルト云フ御考デアリマスカ、言葉ヲ換ヘテ見マスルト、平時ニ於ケル所ノ需要ヲ充シ、又其餘剩ハ出帥準備トシテ不時ノ需メニ應ズルコトガ出來ルト云フ、斯ウ云フヤウナ御計算ニナッテ居リマスルカ、此需給關係ニ付テ御伺シタイ

○政府委員(志佐勝君) 戰時並ニ平時ノ重油ノ消費數量ト云フコトハ御承知ノ通り、是ハ公開ノ席ハ申スニ及バズ如何ナル場合ニ於テモ申上ゲナイコトニナッテ居リマスカ、此數量ハ此處デ明言イタシ兼ネルノデアリマスカ、併ナガラ此唯今ノ油ヲ得マスル所ノ方法ト致シマシテハ、主トシテ外國ヨリ重油ヲ買入レ、又一方ニハ原油ヲ買入レマシテ、此原油ノ買入レタモノヲ以テ、燃料廠デ以テ重油ニ製造スルト云フ方ノ趣旨ヲ以テ計畫ヲ立テ、ゴザイマスノデ此十萬噸若クハ二十萬噸ノ重油ノ製造ヲ以テ平戰何レニ於テモ需給ノ關係ニ於テハ十分デアリ、若クハ稍々満足スベキ數量デアアルト云フコトモ申上兼ネルカト思ヒマス、先ヅ大體ハ製造シタル油ヲ國外ヨリ輸入イタシマシテ、ソレヲ我重油倉ニ貯ヘマシテ、準備貯藏スルト云フコトガ大體ノ立前ニナッテ居リマスカ、一方ニハ原油ヲ取入レマシテ、而シテ燃料廠ニ於テ製造イタシマシテ、其不足ヲ補ッテ行クト云フ

方法ヲ採ッテ參ル今日ノ立前デゴザイマスカ、平時ニ於テハ先ヅ以テ此施設ニ依テ稍々満足ノ狀況ニ立至ッテ行クコト、考ヘマス、戰時ニ要スル所ノモノハ無論之ニ依テ、燃料廠ノ施設ニ依テ十分デアアルト云フ考ハ當局トシテハ有ッテ居リマセズ

○男爵坂本俊篤君 サウ致シマスルト、戰時ノ需メニ應ズル、即チ不時ノ用ヲ充タス重油ト云フモノハ、原油デナクテ所謂製油ナルモノヲ此外ニ御買溜ニナリ、斯ウ云フ事柄ト了解イタシマスルガ、其製油ヲ御買溜ニナル今日マデ既ニ決定サレタ御計畫ト云フモノハドウ云フコトニナッテ居リマスカ、ソレヲ伺ヒマス

○政府委員(志佐勝君) 戰時用トシテ重油ノ計畫ヲ立テ、ゴザイマスノハ、唯今御尋ノ通りニ外國ヨリ取入レマスル製油並ニ燃料廠ニ於テ外國カラ取入レマシタル原油ヲ以テ製造イタシマスル重油、此二ツノ方法ニ依テ貯藏準備ヲ全ウシテ行キタイト云フ考デ居リマス、其貯藏スベキ「タンク」ノ數若クハ數量等ハ今茲デ具體的ノ御答ヲ致シ兼ネマスルガ、先ヅ此二ツノ方法ニ依テ成ルベク平時ハ申スニ及バズ戰時ノ需用ヲ充シテ行キタイト云フ考デ實行シタイト云フノデアリマス

○男爵坂本俊篤君 サウ致シマスルト、年額四百萬圓デアリマシタカ、或一定ノ年間ニ繼續シテ御計畫ニナッテ居ル費用ハ所謂重油ノ買入並ニ製油ノ買入此兩方ヲ充タス爲メノ費用ニ當テ、アル譯デアリマスカ

○政府委員(志佐勝君) 唯今御尋ノ年額四百萬圓ト仰シタルノハ、ソレハ此製油ヲ一般會計ノ側デ經營需品ノ科目ニ於テ買入レマスル豫算外國庫ノ負擔トナル契約、アノ側デ調辨スルモノデアリマスカ、アルト云フコトニ御承知ヲ願ヒマス

○男爵坂本俊篤君 此原油並ニ製油ヲ御買入ニナリマスル會社並ニ其契約、價等ニ付テ伺フコトガ出來マスルナラバ御知ラセテ願ヒマス

○政府委員(志佐勝君) 大正六年度ヨリ大正九年度中頃マデノ間ニ契約イタシマシタル會社ハ英吉利ノ

會社「アヂヤチック、ペトリウム」ト云フ會社デゴ
ザイマシテ、是ヨリ大正十一年度マデノ間ニ四十五
万噸ノ製油ヲ購入スルノ契約ヲ締結シテゴザイマス
其契約書ナルモノハ數口ニ分レテ居リマシテ、而シ
テ其契約締結者ハ英吉利ノ造船造兵會計監督官ニ於
テ取結ンダモノデゴザイマス、其產地ハ「ボルネオ」
又ハ亞米利加ヨリ供給スルト云フコトニナツテ居リ
マス、値段ハ廉イ時ニハ二十七圓、高イ時ニハ七十三
圓カト記憶シテ居リマス、契約ノ大體ハ普通ノ矢張
リ物品講賣ノ契約ノ形ニナツテ居リマス、今原本ヲ御
目ニ掛ケルコトハ出來マセヌガ、何等一般ノ購買契
約ト變ツタコトハゴザイマセヌ

○男爵坂本俊篤君 唯今ノ價格ハ是ハ油其物ノ値段
カト考ヘマスルガ、此中ニハ運送ニ要スル所ノ費用
等ハ含ンデ居ラナイモノト了解シテ宜シイノデアリ
マスカ、油ノ價格ト運送マデヲ合ンダ價格ト此二通
リニ付テ明瞭ニ承知シタイト思ヒマス

○政府委員(志佐勝君) 只今申上デマシタ價格ハ產
地ニ於テ我運送船ガ取入レマス時ノ値段デゴザイマ
スカラ、運賃ハ這ツテ居リマセヌ、之ニ運賃ヲ計算ス
ルコトニナリマシタナラバ、大凡十圓ハ増サウカト
思ヒマス

○男爵坂本俊篤君 其運賃計算ハ多分我海軍ノ特務
艦ノ輸送ニ依ル運賃ノ御計算カト思ヒマスルガ、果
シテサウデアリマスルカ、又或ハ他ノ普通ノ給油船
ノ如キモノヲ以テ運搬シマスルノト、今ノ特務艦ヲ
以テ運搬スルノト經濟上ハ關係ハドウナリマスカ

○政府委員(志佐勝君) 具體的ニ左様ナ比較ヲ致シ
マシタルモノヲ以テ今御答イタスコトハ出來マセヌ
ガ、大體ニ於テ民間デ、例ヘバ三菱アタリデ重油ヲ我
内地ニ於テ買入レマスル所ノ比較ヲ聞イテ見マスト
云フト、一噸百二圓ト云フ近イ頃ノ價格ニナツテ居
マス、而シテ今申上デマシタ價格トハ餘程開キガゴ
ザイマスノデ、十圓ヤ十五圓ノ運賃ヲ併算イタシテ

モ尚ホ我購入價格ノ方ガ餘程低イモノ、廉イモノニ
ナルト云フコトノ大凡ノ見當ハ付キマスデゴザイマ
スガ、此十圓ナリ五圓ナリノ運賃ハ我給油船ヲ向フ
ニ往復サセマスル所ノ計算カラ割出シタル所ノ十圓

並ニ五圓ト云フノデハゴザイマセヌ、受負者ニ見積
ヲサセマシテ、内地デ買フト云フ時ニハ約向ウデ取
入レマスル値段ヨリモ一噸十圓見當ハ高クナルト云
フ見積ヲ取ツタ位ノコトデアリマスルカラ、具體的ニ
今運賃ノ計算ニ付キマシテ給油船ヲ向ウニ往復サセ
マシタ所ノ費用ヲ割出シタモノハゴザイマセヌ、併
ナガラ大體ニ於テ十圓見當ヲ併算イタシマシタナラ
バ一般ノ取引ノ値段ト比較シテノ大差ハナイカト考
ヘテ居リマス

○男爵坂本俊篤君 チョット此運賃ノ基礎ニ付テ了
解イタシ難イ點ハ、畢竟私ノ御尋ノハ例ヘバ給油船
ノ如キモノヲ「チャーター」シテ、サウシテソレヲ以
テ輸送スルノト、ソレカラ海軍ノ特務艦ヲ以テ之ヲ
運送スルノト、此間ノ經濟上ノ關係ヲ承知シタイ、斯
ウ云フノデアリマス、果シテ特務艦ヲ以テスルノガ
經濟デアルノデアリマスガ、ソレニハ特務艦ニ要ス
ル所ノ全般ノ費用カラ割出シテ、サウシテ價格ノ經
濟如何ト云フ事ニ考ナケレバナラスコトト考ヘマス

ガ、是ハ唯今デナクテモ宜シイノデゴザイマスガ、私
ノ申シ述ベタ意味ニ於テ經濟上何レガ可ナリヤ、ト
云フコトノ御調べヲ一ツ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(志佐勝君) 拜承イタシマシタ、其計算
ヲ立テマシテ、書物ニシテ、御目ニ掛ケマス

○男爵坂本俊篤君 續イテ伺ヒタウゴザイマスガ重
油ハ「アヂヤチックペトリウム」會社カラ御買入レ
ニナルト云フコトデアリマスガ、是ガ御買入レニナ
リマスルニハ定メ見積リ等ヲ御取リニナツテサウ
シテ此會社ノハ一番我ガ條件ニ適スルト云フ所カラ
御決定ニナツタラウト思ヒマスルガ、マダ外ニモ色々
油ヲ給スル會社モゴザイマセウガ、此會社ヲ御選定
ニナツタト云フ其理由ハ如何デス

○政府委員(志佐勝君) 重油ノ購入ニ付キマシテハ
二三見積リヲ取ツテ其中デ最モ適當デアアルモノニ契
約ヲ締結スルト云フコトハ申スマデモナイコトデゴ
ザイマスガ、如何ナル見積リヲ取ツテドウ云フ結果ニ
ナツテ、今日契約ヲ締結スルコトニ運ンデ居ルカト云
フコトハ、生憎私材料ヲ有テ居リマセヌ、又覺エ
テモ居リマセヌカラ、是モ書キ物ニシテ後程差上デ

ルコトニ致シマス

○男爵坂本俊篤君 此重油燃料ノコトニ付テハ普通
ノモノト違ツテ、大分此如何ナル所カラ買入レ、又如
何ナル會社ヲ選擇スベキカト云フ事ハ普通ノ選擇以
外ニ於テ大イニ考慮シナケレバナラス事柄デアアルカ
知ラヌノデアリマス、ソレハ例ヘバ米國ノ石油會社
ノ如キハ最近聞ク所ニ依リマスルト米國ノ大統領ニ
ハ禁輸ノ權限ヲ與ヘラレテ居ルト云フヤウナコトモ
アリマスルシ、之ヲ圓滑ニ約束ヲ結ンデ、日本ニ取入
ルト云フコトニ付テハ其邊ノコトナドハ大イニ考慮
ヲ要スルト存ジマスガ、此「アヂヤチックペトリウム」
會社ナルモノハ左様ナ事柄ノ程度ニ依リ全ク離
脱シタ會社デアリマスルカ、左様ナ懸念ノコトニ付
テ御考ヲ承リタイト思ヒマス

○政府委員(志佐勝君) 丁度唯今坂本男爵ノ御尋ネ
ニナラレルヤウナ意味ノ此案ニ付キマシテ衆議院ノ
委員會ニ於キマシテ或ル一員ヨリ海軍大臣ニ御同様
ノ御質問ガゴザイマシタ、尙ホ其質問ニ對シテモット
附ケ加ヘテ質問イタシマシタノハ、十一年度マデハ
ソレデ宜イガ、十一年度以後ニ於テ、亞米利加等ニ於
テ禁輸等ノコトガ行ハレタ噂ガアルノデアアルガ、之
ヲ長ク實行シ得ル見込ガアルカト云フヤウナ質問ガ
ゴザイマシタ、海軍大臣ハソレニ答ヘテ申上ゲルノ
ニハ十一年度以後ニ於テモ無論此會社ト締結シタ契
約ノ實行上差支ナイ、何等支障ガナイ見込デアリ、且
ソ今後引續イテ原油ヲ輸入スル見込ハ確實デアアルト
云フ御答ヲ海軍大臣ハサレテ居リマスカラ、此ノ海
軍大臣ノ言葉ヲ受繼イデ簡單ニ御答ヘ致シテ置キマ
ス

○男爵村上敬次郎君 此二十一万噸ト云フコトヲ算
出サレタ事ニ付テハ、モウ少シ詳シク伺ヒタイノデ
アリマス、詰リ二十一万噸ト云フノハ今年計畫サレタ
ル燃料所ノ作業ノ力ガ其位シカナイノデアリマスガ
又二十萬噸アレバ海軍ノ需要ニ足ル、即チ外國カラ
購入サレタル油ニ加ヘテ、燃料廠デ造ル二十萬噸ア
レバ十分デアアルト云フノデアリマスガ、又ハ外國カ
ラ取ルノニ二十萬噸シカ得ラレナイト云フノデアアリ
マスガ、其邊モウ少シ御説明ヲ願ヒマス

○政府委員(志佐勝君) 二十万噸ト決メマシタル第一ノ理由ハ設備ノ都合ヨリ割出シマシテ二十万噸ト云フコトニ決メマシタルデアリマス、若シ設備ガ許

スナラバ二十五万噸、三十万噸ニ致シタイシ、又製造ノ能力ヨリ經濟上ノ側カラ打算ヲ致シテ見マシレバ、十萬噸、或ハ二十萬噸ト云フハ極メテ經濟上カ

ラ申シマス、割ノ惡イ計數ニナルヤウナコトニモ聞エマス、成ルベク三十万噸ナリ、四十万噸ナリ重

量ノ多イコトヲ以テ經濟カラ申シマス、有利デアルト云フノデゴサイマスガ、一方ニ於テハ設備ノ費用

ノ關係モゴザイマスカラ、又地所其他ノ手ニ入り惡イト云フヤウナ都合等モ考ヘマシテマア已ムヲ得ズ

不十分ナガラ十萬噸ヨリ漸次大正十二年度ニ於テハ二十万噸ト云フ見當ヲ付ケタ次第デアリマス、ソレ

カラ他カラ原油ヲ得マス都合、其他ノ關係ハ此二十万噸ヲ決定スル理由ニナツテ居リマセヌ、設備ガ出来

マセヌカラ、二十万噸以上ノ製造ヲシヤウト思ヒマシテモ出来マセヌノデ、已ムヲ得ズ二十万噸ニ致シ

タル重油ト相俟ツテ供給上稍々満足デアルト云フヤウナコトニハナツテ居リマセヌ

○男爵村上敬次郎君 サウシマス、此燃料廠ト云フモノハ將來尙ホ擴張ナサルト云フ御計畫ガアルノデ

アリマスガ、又海軍ノ御希望通りニ製出サレルト云フコトニナルト何十萬噸此所デ製出スレバ宜シイノ

デアリマスガ、ソレヲ伺ヒタイ

ニ海軍大臣ハ衆議院ニ於テモ答ヘラレテ居リマス、變ヘナイト云フコトヲ

○男爵村上敬次郎君 燃料廠デ重油カラシテ製油サ

ルレバ多少副産物モ出ヤウカト思ヒマスガ、ソレハドウナリマスガ、ソレハ民間ニデモ御拂下ニナリマ

スカ、ドウナリマスガ

○政府委員(志佐勝君) 唯今マデハ副産物ハ總テ海軍燃料廠其他ニ於テ自カラ之ヲ使用スル見込デゴザ

イマス、民間等ニ拂下ゲル意思ハアリマセヌ

○男爵村上敬次郎君 此燃料廠ニ於テ製油サルレバ其製油シタ價格ハ一噸ドノ位ニナリマスガ

○政府委員(志佐勝君) 一噸六十五圓デス、之ニ運賃ヲ加ヘマス、場所場所ニ依ツテ違ツテ行キマスガ、生産費ダケガ六十五圓デス

○男爵村上敬次郎君 先刻ノ御話デハ、廉イ時ハ一噸二十七圓ト承ツタノデアリマスガ、サウデスカ

○政府委員(志佐勝君) ソレハ大正六年頃ノ一番廉イ時ノ價格ガ二十七圓ト申上ゲマシタ、大正六年頃ヨリ大正九年頃ノ直段ハ廉イ時ガ二十七圓、高イ時

ハ七十三圓ト申上ゲマシタ、今日ハモウ八十圓見當デゴザイマス、二十七圓ト云フノハ昔ノコトデゴザイマス

○男爵村上敬次郎君 委員長ニチヨット伺ヒマスガ、二案一絡ニ質問シテ宜シウゴザイマスガ

ノ方ヲ以テ之ヲ補フト云フ風ニ唯今承リマシタルデアリマスガ、サウスルト運轉資金ハ其必要ナル額ダ

ケニセラレテハ如何デアリマスガ、ソレハ何故出来ナイノデアリマスガ

○政府委員(志佐勝君) 御説ノ如クソレモ一ツノ方法デアリマスガ、先ヅ以テ長イ間ヲ一般會計ヨリ繰

入レヲスルト云フヤウナ方法ヲ執ルコトヲ避ケマシテ、先ヅ大正十二三年マデノ見當デ此二百萬圓ト云

フ計數ヲ定メタノデゴザイマスカラ、若シ之ヲ運轉上圓滑ニスルマデノ額ヲ得ヤウト致シマスレバ、大

正十六年度頃マデモ掛ツテ五六百萬圓ノ運轉資本ヲ繰入レヤウト云フ方法ヲ立テナケレバナラヌガ、先

ヅ差當リ今日ノ計畫デハ左様マデノ見積リヲ致シマセヌデ、十二三年度見當ヲ以テ打切りマシテ、サウシテ此二百萬圓ヲ以テ最少額ト定メ、又不足ノ部分ハ

前受金ノ方法ヲ以テヤツテ行クト云フコトニナリマシタノデゴザイマス、尙ホ御質問ノ御趣旨ニ付テハ

其方法ヲ今後篤ト研究イタシタイト思ヒマス

○男爵村上敬次郎君 燃料廠カラ海軍へ製品ヲ賣渡スノニハ、今ノ六十五圓デ賣渡スノデアリマスガ、或

ハ之ニ對シテ多少ノ... 所謂造船材料等ニアルヤウニ多少ノ歩合ヲ掛ケテ賣渡スコトニナルノデアリマスカ、ドウナリマスガ

○政府委員(志佐勝君) 多少ノ歩合ヲ掛ケテ賣渡ス見込デゴザイマス

○男爵村上敬次郎君 其歩合ガ高イコトニナルト、サウスルト經費ノ方デ非常ニ迷惑ヲスル、即チ一般會計ノ負擔ガ多クナルノデアリマスガ、大低ドノ位

ノ御見込デアリマスガ、是ハ後ニ行カナケレバ解リマセヌケレドモ、大凡ソノ御見込ハドウ云フモノデ

アリマスガ、之ヲ他ノ造船材料、造兵材料等ニ比較シテドウ云フコトニナルノデアリマスガ

○政府委員(志佐勝君) 其歩合ハ先程御説明ノ時ニ申上ゲマシタヤウニ一割ニ達シナイ歩合デス、先程

八分七厘ト申上ゲマシタガ、一割ニハ達シマセヌ

○男爵村上敬次郎君 大變高イ歩合ノヤウニ私ハ感ズルノデアリマスガ、サウスルト經費ノ負擔ガ非常

ニ迷惑ヲシハシマセヌカ、即チ經費ガ高イ、非常ニ迷

惑ヲスルト云フコトニナリハシマセヌカ

○政府委員(志佐勝君) ソレハ此二三年ノ間ハ益金

ヲ七十萬圓位ヅ、出シテ行カケレバナラヌ關係モ

ゴザイマスカラ、幾ラカ歩合ハ高クナリマセウガ、今

後二百萬圓ノ見當ニ達シマシタ以上ハソレ程ノ率ハ

掛ケナクテモ宜イト思ヒマス、尙ホ附加ヘテ申シマ

スガ、今ノ八分七厘ト申シマシタノハ單リ重油バカ

リデナシニ、石炭ノ兼營ニ要スル事業ノ運轉資本ノ

關係モ加味シテノ八分七厘デゴザイマスカラ、左様

御承知ヲ願ヒマス

○男爵坂本俊篤君 此原油ハ所謂特務艦ナルモノヲ

以テ專ラ輸入シテ居ル、即チ徳山ノ燃料廠ニ於テ重

油ヲ精製スル爲ニ物ヲ輸入スルニ或ハ不足ヲ感ズル

位ナ程度ニアリハシナイカト思フデスガ、果シテサ

ウデアリマスルト是以外ニ所謂其貯藏スル爲ニ精油

ヲ輸入スル供油船ナルモノノ必要ヲドウシテ之ヲ充

タスコトニナリマスカ、此製造スル原油ダケデ若シ

此特務艦ト云フモノガ手一バイデアアル外ニ一般民間

ノ供油船ナルモノニ依テ外國カラ精油ヲ輸入シナケ

レバナラス、斯ウ云フ狀況デアアリハセヌカト思フ、特

務艦以外ニ又供油船ヲ「チャーター」デモシテ輸入ス

ルト云フ方法ヲ御考ヘニナツテ居リマスカ

○政府委員(志佐勝君) 特務艦ノ數ハ今宙ニ覺エテ

居リマセヌガ、現ニ三四隻アルカト思ヒマス、此油ヲ

輸入スル設備ヲシテ居ル特務艦ハ三四隻現存シテ居

ルト思ヒマス、尙ホ外ニ大正十六年度マデノ間ニハ

供油船ヲ現ニ協贊ヲ經テ居リマスル軍艦製造費ノ中

デ造ル特務艦ガ供油船ニ當ルノガゴザイマスカラ、

出來ルダケ其方デ間ニ合ハシテ他ニ「チャーター」ノ

コトヲ致ス考ハ有ツテ居リマセヌ

○男爵坂本俊篤君 燃料廠ニ於テハ彼ノ低溫乾餾法

ト云フ様ナ方法ニ依ツテ石炭カラ重油ヲ取ル方法モ

講ゼラレテ居ルヤウデアリマス、是ハ唯今ノ所デハ

單ニ試驗的ノ程度ニアルノデゴザイマスカ、現ニ其

方法ニ依ツテ重油ヲ取ツテ、サウシテソレヲ貯藏スル

ト云フサウ云フヤウナ分量ニ達シテ居ルノデアリマ

スカ、ドウ云フ状態デアリマス

デゴザイマスノデ、マダ是ガ經濟ノ上カラ申シマシ

テモ相當ニ他ノ都合カラ考ヘマシテモ、完全ナモノ

トシテ貯藏ノ程度ニハマダ達シテ居リマセヌ、現ニ

尙ホ試驗ノ程度ニアルモノト御承知ヲ願ヒマス

○男爵村上敬次郎君 造船材料ト造兵材料トノ比較

歩合ハ今日如何程ニナツテ居リマスカ

○政府委員(志佐勝君) 唯今ノ所デハ一步ニナツテ

居リマス

○委員長(和田彦次郎君) 如何デゴザイマスカ、別

ニ御質問ガゴザイマセヌケレバ、比較的簡單ナ案デ

ゴザイマスカラ、是カラ直チニ討議ニ御移リニナツテ

ハ如何デゴザイマスカ、尙ホ御質問ガゴザイマスレ

バ御自由ニ...

○男爵村上敬次郎君 如何デセウ坂本男爵カラ御要

求ニナツタ書類モゴザイマスカラ、モウ一回御開キニ

ナツタラ、併シ皆サンガ御進ミニナリマスレバソレデ

異存ハゴザイマセヌ

○委員長(和田彦次郎君) 如何デセウ皆ザンノ御考

ハ...明日カラ分科會モ開カレマスカラ、段々會議

ノ關係カラ...村上男爵モ主查デアラレルシドウモ

席ヲ御譲リニナルコトハ出來ナカラウト思フ、出來

得ルナラバ御進ミニナツテハ如何デゴザイマスカ、併

シ皆サンノ御意見ガゴザイマスレバ...

○男爵坂本俊篤君 私ノ請求イタシマシタ材料ハ、

其材料ガナケレバ必シモ之ヲ決定スル事ノ出來ナイ

程ノ事柄デモゴザイマセヌ、後デ頂戴イタシマシテ

モ宜シウゴザイマスカラ、此際私ハ直グ御決議ニナ

リマシテモ異存ハゴザイマセヌ

○男爵村上敬次郎君 私ハサウナレバソレデ宜シイ

○委員長(和田彦次郎君) ソレデ御異議ナケレバ、是

ヨリ直グニ討論ニ移リタイト思ヒマス

○男爵坂本俊篤君 此海軍燃料殊ニ重油ノ問題ハ朝

野共非常ニ重大視シテ居ル、此際斯様ニ海軍ノ燃料

廠ガ盛大ニ發達スルト云フコトハ誠ニ望マシイコト

デアリマス、併シ段々承ツテ見マスルト假令此際此ニ

十萬噸ニ達セシメラレルト云フ御計畫ガ成就イタシ

マシテモ、將來ノ海軍計畫ガ成リマスル日ニ、之ヲ以

テ十分デナイト云フコトハ政府委員ノ御説明ニ依テ

モ了解ガ出來ルノデアリマスガ、此上トモ此海軍燃

料廠ハ益々資金ヲ豊富ニサレテ擴張ノ實ヲ擧ゲラレ

所謂海軍燃料ノ自給自足ノ域ニ達スルコトヲ偏ニ希

望スル次第デアリマス、私ハ此意味ニ於キマシテ原

案ニ同意シ可決セラレムコトヲ希望イタシマス

○男爵村上敬次郎君 私モ大體ニ於テ異議ハアリマ

セヌガ、一ツ希望ヲ申シテ置キタイト思フ、其希望ハ

此賣掛ヲ八歩七厘トアルガ、是ハ非常ニ高イ歩合ト

思ヒマス、是ハ畢竟運轉資本ヲ補足スル爲ニ高クセ

ラレタ様デアリマス、即チ益金ヲ餘計生ゼシメム爲

ニデアルト思フ、サウシマスルト經費ノ方ニ於テ負

擔ガ多クナルト思ヒマスカラ、海軍省ニ於テ之ヲ實

行セラレル上ニ於テハ此賣掛歩合ヲ成ルベク少クシ

テ、サウシテ經費ノ方ニ於テモ成ベク買入レル歩合

ヲ低クシテ實行セラレムコトヲ希望イタシマス、固

ヨリ資本ガ足ラナケレバ増シテ宜イ資本ヲ増サズニ

運轉資本ヲ早ク補足スル爲ニ經費ノ負擔ヲ重クスル

ト云フコトハ、是ハ策ノ得ザルモノデナイカト思ヒ

マス、其點ニ付テハ海軍省ニ於テ十分御注意アラム

コトヲ私ハ希望イタシマス、其希望ヲ以テ私ハ之ニ

贊成イタシマス

○委員長(和田彦次郎君) 別ニ反對ノ意見者モ無イ

様ニ考ヘテ居リマス、兩君ハ原案ニ贊成デゴザイマ

スカラ、全會一致贊成ト認メテ宜シウゴザイマスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(和田彦次郎君) 全會一致デ可決致シマシ

午後二時十一分散會

出席者左ノ如シ

委員長 和田 彦次郎君

副委員長 子爵細川 立興君

委員 子爵森 清君

子爵松平 乘長君

男爵村上 敬次郎君

男爵坂本 俊篤君

男爵寺島 敏三君

政府委員

大藏書記官	佐々木	謙一郎君
海軍主計中將	志佐	勝君
海軍主計大佐	加藤	亮一君

大正十年三月十日印刷

大正十年三月十一日發行

貴族院事務局

印刷者 印刷局